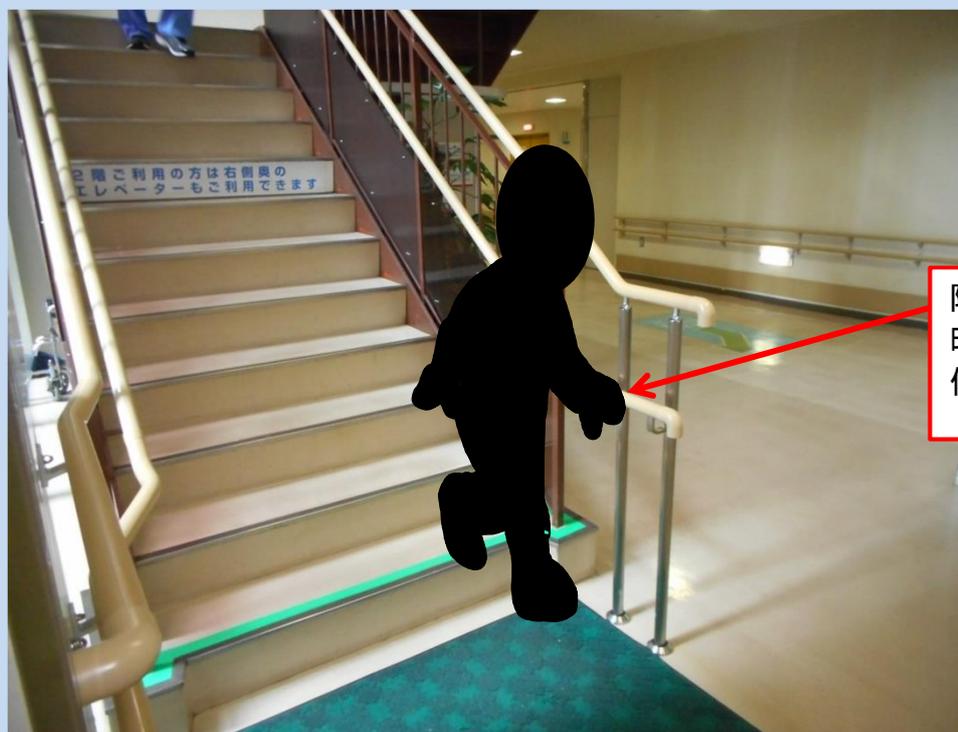


大分赤十字病院

- 外来のある1階から2階に上がる階段手すりの平行部分を延長しています。
- 当初は階段のななめ部分のみの手すりでしたが、階段を降りてきた人が転倒する危険がないようにするための改修を行い、階段の昇降時により体が安定するような形態になりました。
- 手すりを延長することで、高齢者などが階段の昇降を行いやすくなり、既存の施設に対して少しの配慮を行うことで、行動がより円滑になる事例です。



階段の両側に
1Fの床と平行な
手すりを増設した。



階段を降りて来る
時に手すりを持って
体が安定する。